

# 米留学生もドッコイショ

海陽小でよさこい交流 ■室蘭



8日から室蘭・海星学院高校(堺俊光校長、207人)を訪れている、米国ミネソタ州のイダイナ高校の生徒6人が10日、室蘭市海陽小学校(林暁宏校長、451人)でよさこいを体験した。4年生67人と交流した。児童は11日の運動会で披露する予定のよさこいを演舞。「どっこいしょ」と威勢の良い掛け声と力強い踊りに驚いた6人は、子どもたちの輪に入りよさこいにチャレンジ。鳴子を手に子どもたちの動きをまねながら、日本独特のダンスに汗を流していた。

けん玉などの昔遊びも楽しみ、日本の小学生とすっかり打ち解けた様子だった。この日は登別市幌別中学校も訪問した。

この後一行は室蘭市役所を訪れ、青山剛市長を表敬訪問。青山市長は一人一人に名刺を手渡し、握手を交わした。室蘭夜景の写真パネルを見せながら、白鳥大橋や夜景の美しさ、室蘭港の概要などを伝えた。

最後にポルタのピンバッジをプレゼント。「室蘭で人気のキャラクターで名前はポルタと言います。全て手作りでです」と伝え「滞在を楽しんで」と呼び掛けた。留学生たちは「とてもかわいい。室蘭の思い出として大切にします」と市長がフレンドリーに質問してくれて親しみを感じた「などと喜んでいました。」

(成田真梨子、池田勇人)

海陽小の児童とともによさこいを体験するイダイナ高校の生徒